

衆議院北朝鮮による拉致問題等に関する特別委員会ニュース

【第219回国会】令和7年12月5日（金）、第3回の委員会が開かれました。

1 北朝鮮による拉致問題等に関する件

- ・茂木外務大臣、木原国務大臣（拉致問題担当）、あかま国務大臣（国家公安委員会委員長）、鈴木内閣府副大臣、若山内閣府大臣政務官、福田文部科学大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。（質疑者）高木啓君（自民）、平岡秀夫君（立憲）、有田芳生君（立憲）、東徹君（維新）、岸田光広君（国民）、中川宏昌君（公明）、上村英明君（れ新）

（質疑者及び主な質疑事項）

高木啓君（自民）

- （1） 国連人権委員会強制失踪作業部会の報告書に記載された「特定失踪者」12名に対する政府の現状認識及び捜査・調査状況についての木原国務大臣の見解
- （2） 北朝鮮による日本人拉致に関する若年層への啓発活動について
 - ア アニメ「めぐみ」の全国の学校への配付時期及び配付方法並びにそれを使用した拉致問題に関する授業の実施状況
 - イ 田口八重子さん拉致を主題とした、コミック「母が拉致された時僕はまだ一歳だった」の電子版の利用状況及び同コミックのアニメを作成する必要性
 - ウ 自発的に拉致問題に取り組む中高生が国や地方公共団体が主催する拉致問題の集会において行っている活動の具体的事例

平岡秀夫君（立憲）

- （1） 石破政権時代の日中首脳会談の内容について
 - ア 拉致問題を含む北朝鮮情勢に係る意見交換における中国への協力要請内容及びその進展状況
 - イ 高市内閣が拉致問題に関し中国に求める協力内容
- （2） 高市内閣総理大臣が北朝鮮側へ伝えたとする日朝首脳会談申入れの時期、ルート及び条件
- （3） これまでの経緯等を再度検証・分析し、最も有効な手立てを講じていくとの石破内閣の方針は高市内閣でも同じであることの確認
- （4） 横田めぐみさんのものとされる遺骨のDNA鑑定結果について
 - ア 遺骨は横田めぐみさんのものではないと断言した当時の細田内閣官房長官の記者発表の内容の正確性
 - イ 日本政府が当時の事実関係を再度検証・分析し、真の事実関係に基づいた行動をとる必要性

有田芳生君（立憲）

政府認定の拉致被害者について

- ア 政府認定の拉致被害者は17人であるが、警察庁は13件19人を拉致容疑事案と判断している理由
- イ 政府認定の拉致被害者17人中、2002年に5人が帰国し8人は死亡とされているが、あとの4人の氏名と現在の年齢
- ウ 田中実さんに対して認識している事柄
- エ 齋木昭隆元外務事務次官が拉致問題で携わった役割
- オ 田中実さん及び金田龍光さんが平壤で生存しているという情報が入っていた2014年の北朝鮮の報告書を政府が受け取らなかったと齋木昭隆元外務事務次官が答えた報道に対する茂木外務大臣の見解
- カ 拉致問題解決に向けて田中実さんの事情聴取を行うために日本政府が担当者を平壤に派遣する必要性

東徹君（維新）

- (1) 日米両首脳による拉致被害者家族等との面会（令和7年10月28日）について
 - ア トランプ米大統領から拉致被害者家族への発言内容
 - イ ルビオ米国務長官から拉致被害者家族への発言内容
 - ウ 拉致問題解決のために我が国が米国政府に求める対応及び想定される米国の対処
 - エ 拉致問題解決に向けた木原国務大臣の決意
- (2) 令和7年度における拉致問題に関する舞台劇及び映画上映会の実施予定件数
- (3) 国連総会第3委員会において採択（2025年11月29日）された北朝鮮人権状況決議案の内容

岸田光広君（国民）

- (1) 若い世代を含む幅広い国民に対する拉致問題啓発の重要性
- (2) 内閣発足時の記念撮影において全閣僚がブルーリボンバッジを着用する必要性
- (3) 日朝首脳会談の実現に向けた政府の取組方針
- (4) 2026年4月の平壤マラソンへの参加を予定する日本人がいることを踏まえ、北朝鮮への渡航自粛に向けて政府が取り得る対応
- (5) サイバー捜査能力を強化し、日本から北朝鮮への資金流出を摘発する必要性

中川宏昌君（公明）

- (1) 国際社会と緊密に連携し、北朝鮮に対する戦略を強化する必要性
- (2) 拉致問題に係る我が国の主張の正当性を国際社会に浸透させるための政府の積極的な情報発信に係る取組状況
- (3) 所管省庁、自治体等の関係機関の連携強化を通じて拉致未認定事案等の調査を進める必要性

上村英明君（れ新）

- (1) 拉致、核、ミサイルのパッケージ論にこだわらず、拉致問題を最優先に対応する必要性
- (2) 朝鮮学校の高校授業料無償化の対象からの除外について
 - ア 高等学校等就学支援金の支給状況
 - イ 無償化対象からの除外に対する国連勧告等に関する国会答弁が、国際法に基づく外交を担う大臣の発言としては不見識との指摘に対する茂木外務大臣の見解
- (3) 日朝国交正常化について、(2)の質疑を踏まえた木原国務大臣の見解